

令和5年度2学期いじめアンケート

未然防止	
	生徒への声掛け
	校長講和を定期的に行う
	「気づかないうちに加害者になっている場合がある」という意識を持つ
	話しやすい環境づくり
	一人行動が多い生徒への自然な声掛けで相談しやすい状況にする。おとなしい生徒(うちの子もそうですが)への自然な発言のチャンスを設定。生徒との距離が近く話しやすい先生であってほしいです。
	相談の機会を増やす
	学校側で生徒の様子をよく見て月単位でいじめに関する講話を行ってはどうか？
	生徒の行動に目を向けて状況をしっかり判断してほしい
	いじめが起きない環境づくり
	クラス全員への注意喚起
	学校のあらゆる場面で生徒の居場所を作ってほしい
	監視カメラの設置(トイレを除く)
	定期的な生徒との面談
	多様性の理解を深める授業を行う
	いじめをテーマとした講演会の開催
	子供たちの変化を見逃さず面談を行ってほしい
	生徒一人一人と向き合ってほしい
	いじめが起きない環境づくり
	クラス内の親睦を深める
	タブレットの活用
	教員がよく観察してほしい
	コミュニケーション
	普段使用されていない教室や通路の管理、見回り等生徒たちへの声掛け等で少しは防止できるのではないかと注意喚起
	対策はないと思います。
	いじめ防止教室 講義の実施
	集団でいじめをしない
	コミュニケーション
	休み時間や昼休みも巡回して生徒の様子を注視してほしい
	教員がよく観察してほしい
	暗い顔をしている人を見かけたら声をかける
	関わらない
	見回り
	生徒への呼びかけ
	生徒一人一人をよく見てほしい
	SOSを見逃さないでほしい
	些細なことでも先生に相談する
	日頃から生徒とコミュニケーションをとる
	交友関係の変化に注意してほしい
	生徒と向き合いコミュニケーションをとる
	生徒観察
	いじめる人と関わらないようにする

	暖かい雰囲気づくり
	生徒観察
	定期的な二者面談
	何でも話せる環境づくり
	各自の意識
	生徒、教員のコミュニケーションづくり
	いじめを作らない関係づくり
	注意喚起のポスター掲示
	小さな意見や兆しを見逃さない
	罰則を設ける
	生徒を常に見守る
	二者面談
	コミュニケーションをとる
	監視カメラの設置
	様子をよく見てほしい
	元気のない者や様子が変わった生徒を気にして見てほしい
	アンケート
	いじめを見て見ぬふりをしない
	いじめがあった場合、どんなことがどんなふうになっていくのか、きちんと学ぶことが必要だと思います。
	いじめは「犯罪」であることを伝える
	生徒の話聞いて親にも情報を伝え、対応を考える。
	生徒一人一人をよく見てほしい
	見回り
	クラス内の交流を深める
	仲が悪そうなもの同士を同じクラスにしない
	ポスターによる注意喚起
	教員や管理職が「聞く耳」を持ってほしい
	アンケート
	仲の悪いもの同士は無理に同じグループにしない
	班活動・グループワークはやめてほしい
	日頃の観察
	表情等を見逃さないでほしい
	仲間外れにしない、集団で個人攻撃をしない

令和5年12月19日

解決・解消
いじめが発覚したら、すぐに解決のための話し合いの場を設ける
隠ぺいせず、状況や固有名詞を開示する
いじめの被害者は心の傷は治らない、先生には気にかけてもらい 休み時間など、たまに様子を確認し生徒にトラブルがないかアンテナを張る。相談しやすい先生に、相談に来た生徒の話を聞いてあげる。そして、必ず助けてあげてください。弱者の見方でいてほしいです。
被害者に親身に対応する
加害者になぜ、いじめを行ったのか問いただし、再発防止を行う
双方の話をきちんと聞いてほしい。
コミュニケーション
生徒への声掛け
被害生徒を必ず守ってほしい
いじめの加害者は警察に通報して対応してもらおう
加害者への厳しい処分
双方の話し合い
面談
関係するすべての生徒の話をよく聞いて指導を行う
見過ごさず、仲介してほしい
話をよく聞いてほしい
相談しやすい環境づくり
タブレットで相談できるといいと思う(meet?)
加害生徒は退学させてほしい
問題点をはっきりさせる
いじめをした側の対応(いじめを受けた側から離す等)
相談に乗ってほしい
生徒の話をよく聞いてほしい
いじめの関係者の一方だけを味方しない
生徒の話をよく聞いてほしい
クラス内のSNSやグループチャットなどインターネットに関する使用状況の開示などをできるようにしてほしい →通信事業者・警察の管轄 通常は開示請求に応じない
速やかな対応をお願いします
アンケート
一人一人の話をよく聞いてほしい
見回り
被害者を味方する(守る)
目を背けない
スクールカウンセラーの常駐
別室での学習を許可してほしい
アンケートの実施
当事者の意見のすり合わせを行う
交友関係の変化を確認した時点で声をかける
生徒面談
親や先生の相談する

双方の話をよく聞く
いじめの厳罰化
気軽に相談できる環境が欲しい
両者での話し合い
風通しの良いクラス
相談
勉強以外の部分も子供たちと関わりを持ってほしい
生徒の話を聞く
相談できる環境づくり
声掛け
関係者の話し合い
相談しやすい環境を整える
被害生徒に寄り添ってほしい
相談しやすい環境づくり
男女平等にする
誰もが相談しやすい環境を整える
コミュニケーションをとる
アンケートを毎月実施する
一人一人の話をよく聞いてほしい
両者での話し合い
話し合いは不要だが、班活動や共同作業を当事者同士を一緒にし
警察をに被害を訴える
生徒の訴えを聞き流さず解決するまで動いてほしい
保護者との相談
当事者が話しやすい先生に相談できるようにしてほしい
早期発見、解決までに時間をかけないでほしい
親や頼れる友達への相談